

福岡県立糸島特別支援学校

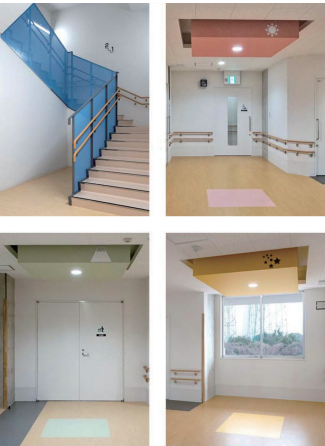


外観

福岡県最西部に位置する糸島地区初の県立特別支援学校として開校。専門的な知的障がい教育および肢体不自由教育を受ける機会の確保と、地域における特別支援教育の拠点として、共生社会の実現を目指している。



サイン



1フロアを4区画で色分けし、視覚的に「形」、「色」、「絵」を見てわかる「構造化デザイン」のわかりやすいサインを掲示している。



サイン



廊下のコーナーに掲示したサインは、大きなピクトグラムと白黒のコントラストで視認性に配慮。小学部から高等部まで幅広い年代の児童・生徒が在籍しているため、だれもがわかりやすいピクトグラムを用いている。



1F 教室

木の温もりを感じさせる教室。衛生面に配慮し、室内にお湯が出る手洗い場を設置。駐車場に面した掃き出し窓は、緊急時に救急車を横付けして、教室から直接搬送ができる仕様となっている。



1F
肢体不自由教育ゾーン
トイレ入口

男女トイレに近接して洗濯室を配置している。廊下の手すりは、体格差に配慮して高さ違い（上段750mm、下段550mm）で2段設置。



1F
肢体不自由教育ゾーン
男子トイレ



車いすでの利用を想定し、トイレ内の通路幅や大便器ブースの出入口有効開口を広く確保。ブースの扉は、開閉操作がしやすい引戸を採用している。



1F
肢体不自由教育ゾーン
男子トイレ

さまざまな身体状況を想定し、収納式多目的シートも用意。さらに、トイレトレーニングなどトイレで過ごす時間が長くなることも配慮し、ブース内に暖房器具も備えている。



1F
肢体不自由教育ゾーン
男子トイレ

身体状況にあわせて選択できるよう、同じ仕様の設備を左右勝手違いで用意している。



1F
肢体不自由教育ゾーン
シャワー室



体を洗う必要がある場合に備え、トイレ内にシャワー室を設置。さらに、車いす使用者の利用に配慮して、シャワー室出入口の有効開口も広めに確保している。



1F 保健室トイレ



保健室のトイレも、車いす使用者の利用も可能とする広めのスペースを確保。さらに、シャワー室も完備している。



1F リラックスルーム



カームダウンが必要な児童・生徒に配慮して、各階に設置。腰壁にクッション材を貼るなどして、安全面に配慮している。



1F 来客用 男性トイレ



色味の濃い木目調をアクセントとした落ち着いた空間。清掃性に配慮して、壁掛型の自動洗浄小便器を設置している。

福岡県立糸島特別支援学校



1F 来客用 女性トイレ

洗面コーナーには、水じまいがよいアンダーカウンター式洗面器に、非接触で手洗いができる自動水栓を採用し、衛生面と節水に配慮している。



1F 来客用 女性トイレ

奥行きがコンパクトで、ゆとりある空間を実現するパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。擬音装置（音姫）も備えている。



1F 来客用
バリアフリースイートイレ

車いす使用者やオストメイトに配慮したバリアフリースイートイレ。災害時への備えとして、来客用トイレは停電時の照明やコンセントの継続使用が可能な計画としている。



1F 給食室

洗面器の水栓は、非接触で手洗いができる自動水栓とし、身繕いをチェックする鏡を完備している。



1F 給食室内トイレ

大便器ブース内外に自動水栓をセットした手洗器を設置。大便器には、ノズルをきれいに保つことができる「きれい除菌水」機能を備えたウォシュレットアップリコットPを設置し、衛生面に配慮している。



2F 生徒用 女子トイレ

大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、プライバシーに配慮。万一、ブース内で人が倒れた場合に扉を外側から開けられる、非常解錠可能な装置を全ブースに採用している。



2F 生徒用 女子トイレ

便座が冷たいと排せつができない児童・生徒もいるため、すべての便器に暖房便座を設置。また、排せつ時の音に配慮して、音姫（トイレ用擬音装置）を設け、プライバシーに配慮している。



2F 生徒用 女子トイレ

掃除用流しのほか、汚物流しも各トイレに設置。汚物流しは、腰に負担をかけずに作業できる補高台付とし、両手がふさがっている際も肘で操作できる長い柄をセットしたフラッシュバルブを採用している。



2F 生徒用 男子トイレ

ボタンが大きくわかりやすい便器洗浄リモコンは、ボタンを押すたびに発電し、電源工事や乾電池の交換が不要な発電式としている。



2F 生徒用
バリアフリースイートイレ

車いす使用者のほか、オストメイトにも配慮して汚物流しを備えた、コンパクトバリアフリースイートイレバックを設置している。



3F 生徒用 トイレ入口

トイレの場所が遠くから視認できる立体的なビクトサインと色でわかりやすく案内。トイレに隣接してシャワー室も用意している。



3F 生徒用
男子・女子トイレ

3Fは、高等部の生徒が多く利用することから、年代にあわせ、来客用トイレ同様の落ち着いた雰囲気の内装としている。

福岡県立糸島特別支援学校



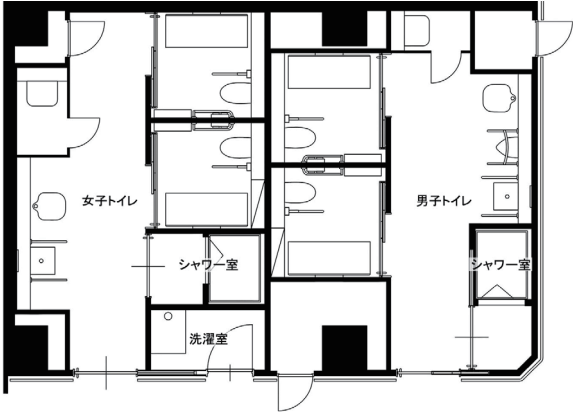
3F 生徒用
バリアフリートイレ

床の清掃性に配慮し、壁掛式の大便秘器を採用したコンパクト・バリアフリートイレパックを設置。大便秘器や汚物流しの洗浄は、通常時はリモコン操作で、停電時は手動で水が流せるよう停電時洗浄レバー付としている。



3F シャワー室

使用勝手を考慮し、ユニットシャワー、汚物流し、洗濯機置場をまとめて配置している。



1F
肢体不自由教育ゾーン
トイレ図面



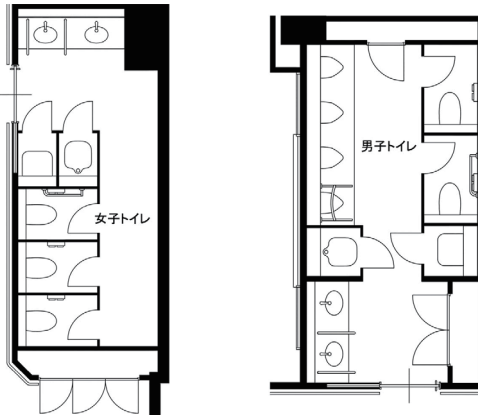
3F 廊下

廊下は十分な広さを確保し、休み時間などに児童・生徒の憩いの場となるベンチも設置。ベンチやコーナークラドには、県産材を使用している。



ワーク室（アグリ）

高等部の生徒が、農作業の学習を行うワーク室（アグリ）。このほか、3Fには調理や被服、清掃作業などさまざまな学習を行う作業学習室を揃えている。



2F 生徒用トイレ図面



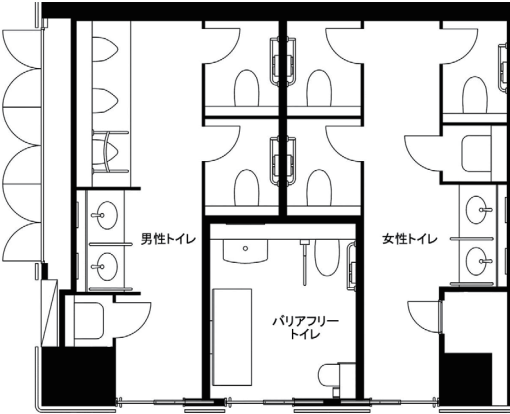
イエロースペース

休み時間の休憩場所。多目的に利用できる「イエロースペース」は、窓から自然豊かな景色を眺めることができるリフレッシュスペース。



体育館

ポッチャコート®を2面確保した体育館。隣接して職員室を配置することで、窓から館内が確認でき、すぐに駆け付けられる見守りやすい計画としている。



1F 来客用トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

「福岡県立糸島特別支援学校」は、2024（令和6）年4月に開校した、福岡県の最西部に位置する糸島地区初の県立特別支援学校である。専門的な知的障がい教育および肢体不自由教育を受ける機会を確保するとともに、地域における特別支援教育の拠点として、糸島市と連携して教育を通じた共生社会の実現を目指している。小学部、中学部、高等部が設置され、個別の教育支援計画および指導計画に基づき、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を実施。校舎は、幅広い年代の児童・生徒に対応した安全性を校舎全体で確保。「構造化デザイン」によるサインの立体化や色によってわかりやすい移動空間のしくみとピクトグラムの統一で、支援性の高いものとしている。

水まわりの特長

1、2Fに小学部と中学部の教室、3Fに高等部の教室を配置。1、2Fの児童・生徒用トイレは明るい色味の内装、1F来客用トイレと3F生徒用トイレは落ち着いた色味の内装としている。大便秘器ブースには、安全性に配慮して、緊急の際に外側から開けることができる非常解錠可能な扉を採用。肢体不自由の児童・生徒が使用するトイレは、男女トイレそれぞれに、左右勝手を反転させたブースを設け、収納式多目的シートやトイレに時間を要する場合に備え、暖房器具を設置。ほかと比べ扉幅も大きくしている。また、災害時に備え、1Fトイレの一部は洗浄水に雨水を活用。停電時は、電源自立型空調GHPから供給することで、照明及びコンセントが継続利用できる計画とし、特別支援学校として支援性の高い配慮を実現している。

建築概要

名称	福岡県立糸島特別支援学校
所在地	福岡県糸島市泊965
施主	福岡県
設計	松田平田設計・ストリームデザイン・福岡建築設計事務所・テクノ工営西日本支社設計業務共同企業体
施工	建築 へいせい・松吉・共栄特定建設工事共同企業体 岩崎・柿原・アスミオ特定建設工事共同企業体 ほか 衛生 シナノ設備株式会社
竣工年月	2024年2月
敷地面積	20,161.49㎡
建築面積	4,075.86㎡
延床面積	9,276.55㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF583*系
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF584*系
ウォームレットG:TCF226
棚付二連紙巻器:YH702
音姫(トイレ用擬音装置):YES402R
自動洗浄小便器:UFS900R
ハイドロセラ・フロアPU:AB680BR、AB690BR
自動水栓一体形電気温水器:RECK03B1R系
電気温水器:REW06A1BK
収納式多目的シート:EWC520ARS
コンパクト・バリアフリートイレパック:UADAK21R1B1ADD1W
コンパクトオストメイトパック:UAS81LDB2NW
パブリック用流し:SKL330HNFP